



共催 第361回 **圓橘の会** 3月24日 (土) 15時～
(開場14時半)

三遊亭圓橘

しおばら たすけ いち だい き

一、圓朝作 塩原多助一代記

げんぶ じほ さえぎ こうし はげ
嚴父慈母を遮り孝子を励ます



予約 2,500円 当日 2,800円

※お申込みはお電話 03-5639-1776
または info@fukagawatokyo.comまで

3月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5 休館日	6 おきがる講座	7	8	9	10 コドモアソビ	11
12 休館日	13	14	15	16	17	18
19 休館日	20	21	22	23 おきがる講座	24 落語会	25
26 休館日	27 企画展 (~4/8)	28	29	30	31	

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19時まで)

喫茶にちようの営業日は <http://nichiyou.net/wp/> をご覧ください

3月の催し

共催 さくらまつり関連企画

企画展

アウトサイダーアートの方向？

Westerly winds from Osaka?

3月27日(火)～4月8日(日) ※4月2日(月)は休館日 無料

大阪の障がい者生活介護事業所「アトリエライブハウス」の作家たちによる作品を展示します



主催 Salon de ふかがわ

おきがる講座

コーヒー・お茶を飲みながら
江東区の歴史についてお話しします

3月6日(火) 14時～15時半「深川めし」再

3月23日(金) 14時～15時半「深川地域の学校歌」

講師 龍澤 潤(深川東京モダン館)

両日とも 料金500円(1ドリンク付)
予約不要・定員30名

主催

コドモアビ

3月10日(土) 14時～16時

ベーゴマまわそう!

おりがみおろう!

みんなあつまろう!



参加無料

教える人 ベーゴマ:鈴木祥元さん
折り紙:高橋勝美さん

第14回お江戸深川さくらまつり

3月24日(土)～4月11日(水)

※各土日(3/24・25・31、4/1・7・8)は石島橋の上がお花見カフェに

※和船操船日は各土日(3/24・25、4/1・7・8)及び4/4(水)・11(水)

お江戸深川 見どころいっぱい

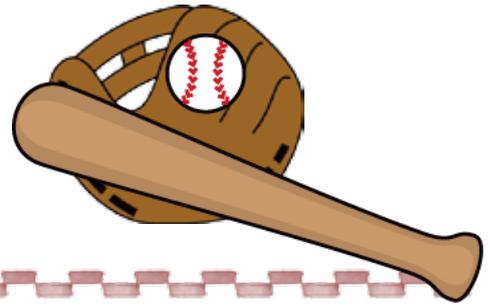
まつりに関するお問い合わせは 深川観光協会 TEL03-3643-0114

船に関するお問い合わせは NPO 法人江東区の水辺に親しむ会 TEL03-5639-2818

モダン館ボランティアガイドだより⑥2

「伝統の一戦（巨人・阪神）」誕生の地

洲崎球場跡



モダン館だより 12号で「モダン館にて～平岡 薫と自動車製造会社～パネル展開催中」を投稿しましたが、今回はその自動車会社の南隣にあった洲崎球場の紹介をさせていただきます。

その跡地には、区教育委員会により説明板が建てられています。まずその文面をそのまま紹介します。

「伝統の一戦（巨人・阪神）」誕生の地
洲崎球場跡 新砂1丁目1・2付近

洲崎球場（別称・洲崎大東京球場）は、日本プロ野球草創期の野球場で、昭和11年（1936）2月に日本で6番目に結成されたプロ野球チーム「大東京軍」の本拠地でした。

プロ球団結成への気運は、昭和9年（1934）開催の日米野球で高まりました。同年12月に大日本東京野球倶楽部（現在の読売巨人軍）が結成されると、東京、大阪、名古屋に相次いでプロ球団が誕生し、昭和11年（1936）には7球団によるプロ野球公式戦が開始されました。

しかし、東京にはプロが使用できる野球場はなく、在京球団の本拠地建設が急がれました。そのため、洲崎球場はわずか3ヵ月ほどで完成し、秋のシーズンの最後を飾る「東京第二次リーグ戦」が開催されました。シーズン終了後には、巨人とタイガース（現在の阪神）による初のプロ野球日本一決定戦（3連戦）が開催され、沢村栄治投手擁する巨人が初代王座を獲得しました。この試合は、日本プロ野球史上屈指の好ゲームといわれ、洲崎球場が最も輝いた時でした。現在でも「伝統の一戦」といわれる両チームの熱戦は、ここから誕生しました。

日本プロ野球の歴史を刻んだ洲崎球場は、昭和13年（1938）の3試合を最後に閉鎖されました。わずか3年間とはいえ、日本プロ野球界繁栄の礎を築いた貴重な野球場跡として記録に残すものです。

平成17年（2005）2月 江東区教育委員会

洲崎球場は、プロ野球（当時は職業野球）最初の公式戦が行われた昭和11年の10月に完成し、翌12年にかけて沢村栄治のノーヒットノーランや川上哲治のデビュー戦、そして今も語り継がれる沢村英治（巨人投手・27才で戦死・殿堂入り）対景浦将（タイガース投手&外野手・29才で戦死・殿堂入り）の伝統の一戦と、数々の名勝負が繰り返され、今も語り継がれる多くの名勝負がこの球場から生まれました。

昭和12年に後楽園球場が出来ると洲崎球場での試合は激減し翌年に役目を終えました。その理由は、海沿いの埋め立て地に建てられた球場であったため、外野席には蟹が這いずり回り更に悪いことは大潮の時にはグラウンドまで海水が浸水する有様でした。その様な状態で、都心に後楽園球場が出来たのですから、洲崎球場がその役割を終えるのも当然のことだったのでしょう。

夢の島の少年野球場事務所（03-3521-8265）には、1/200の正確な模型が展示されています。ご覧になっていない方は、是非一度足を運んで下さい。



（文 江東区文化観光ガイド 中村 智幸）

深川東京モダン館では、江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。 ※諸事情によりガイド不在の場合もございます。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター コトミちゃんグッズ各種
- ・江東区の名所を描いた絵はがき(水彩・切絵・写真)
- ・一筆箋各種
- ・Tシャツ、てぬぐい
- 江戸切子、ICカード入れ
- もくレース、深川めしの素
- ランチョンマット、
- 甘酒（冬季限定）など

喫茶にちよう

深川東京モダン館2Fで不定期に営業している喫茶店です。美味しいコーヒーと米粉スイーツ、そしてきまぐれカレーランチをご用意しております。

※<http://nichiyou.net/wp/>

営業時間：11時半～14時
メニュー

- ・にちよう珈琲 300円
- ・にちよう紅茶 300円
- ・カレーランチ 800円～
- ・カレーセット 1000円～

百圓珈琲

深川東京モダン館 1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております（「喫茶にちよう」の営業日のうち土日をのぞく）。ホットコーヒーの「小樽」と「ペイキャメル」2種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10：00-18：00（金・土曜日は19時まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）



Erythronium japonicum

「深川東京モダン館だより」第64号（平成30年2月23日）

発行 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

